

## 血管の病気？

動脈、静脈、リンパ管を合わせて、「脈管」とよびます。脈管は、体の道路のようなもので、血液やリンパ液を介して、必要なものや不必要なものを運搬する道路、と考えるとわかりやすいです。この道路（脈管）が異常をきたす（詰まったり、瘤になったり、破れたりする）と、道路は体中にはりめぐらされているため、非常に多彩な症状が出ます。

### 主な脈管疾患の症状

大動脈；胸背部痛・腹痛・腰痛・嘔声（かすれ声）・ショックなど、

脳・頸動脈；意識障害・片麻痺・構音障害・めまい・頭痛など

冠動脈；胸痛・呼吸困難・動悸・意識障害など

腹部動脈；腹痛・下血・腎機能障害・高血圧など

末梢動脈；四肢の痛み・冷感・しびれ感・壊疽など

末梢静脈；四肢痛・腫脹・色素異常・皮膚潰瘍など

リンパ管；腫脹・感染時の痛みなど

これら脈管の病気は、今までは、各臓器に関係する科だけで診てきました。脳の血管であれば神経内科や脳神経外科、冠動脈であれば循環器内科や心臓血管外科で診てきたのです。しかし、動脈硬化や炎症は、全身の脈管に及びます。そのため体中の脈管を専門に診る医師が必要になってきました。日本脈管学会は、平成 21 年から専門医の認定を開始しました。私も、今年認定医と認めていただき（おそらく山形県で二人目です）、全身の脈管を診る専門医として、お役に立ちたいと思っています。宜しくお願い致します。